

平成30年度香住丘校区防災訓練を実施

校区自主防災会では、10月13日（土）、震度6強の地震が発生したとの想定で、香椎第2中学校を『収容避難所』とした防災訓練を実施しました。

訓練には、東消防署等の協力の下に下記の方々など合計480名が参加しました。

町内会住民（食進会、防災士を含む）	297名
香椎第2中学校の生徒さん	95名
福岡女子大学学生の皆さん	12名
九州産業大学学生の皆さん	25名
かすみっ子	35名
福祉施設の職員の方	2名

今回の訓練は『校区自主防災組織の機能充実』を主眼として、

- (1) 自主防災会本部組織の各担当者の実行動の確認のため、班長、副班長を指名しての役割分担
- (2) 各町内会の町内会長及び防災担当者の役割の実践など避難時の役割の再確認と実践を行いました。訓練参加者には、
 - ① 阪神淡路大震災のビデオ鑑賞による『地震の怖さと対策』について学んでいただき、次に、
 - ② 校区の女性防災士による『災害から子どもの命を守るための心構えと対策』の講演を通じて、災害時の保護者としての行動を再確認しました。

災害時に最も身近にいて即戦力となる香椎第2中学校の生徒、福岡女子大学、九州産業大学の学生さん達にもそれぞれの役割を分担してもらい有意義な防災訓練となりました。

今後とも自主防災力を高めるため、引き続き防災活動を行っていきます。





簡易タンカ体験



新聞紙で簡易スリッパづくり